



## 第111号 2013年5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

写真撮影／中村正(山田)

### 主な内容

ズームアップ 山本孝夫 (山口市) .....	P4
聞きかじり歴史散歩 11 「大学の創設と萩の先人たち」 下 .....	P6
農業起業家 椋木章雄 (萩市) .....	P8
船崎窯 船崎透 (萩市) .....	P9
雲林寺 角田宗岳 (萩市) .....	P10

田植えを終え、水を張った水田は美しい。田舎の風景は、水田をはじめ竹やぶ、アジサイ、アヤメの花など、雨が自然を美しく見せる。

木間(糺座)の棚田で、5月の田植え後にタヌキがカエルなどを捕るために荒らした苗を、早朝に修復しているところ。この田も今は耕作する人がいなくて荒れている。

萩市では中山間地域で著しく高齢化が進むなか、父祖伝来の農地を耕作放棄地とせず、農地として次世代に継承できるよう、農地の利用権の集積を図る集落営農を促進する取り組みを進めている。

## 田植えの季節 ～棚田早春 木間



# 高齢化対策や 若者定住に取り組む



## □市長のプロフィール

昭和19年(1944)生まれ  
萩高昭和38年卒(第15期)  
京都大学経済学部経済学科卒業  
[略歴]  
大蔵省主税局税制第3課長・第2課長、  
国税庁調査査察部長  
平成5年10月 萩市長初当選  
平成17年3月 合併後の新萩市初代  
市長～現在に至る

## 旧市時代から実質6期目、 多選については

今までの経験を生かし、地方の声を国に訴えるのも私の使命。自治体運営は継続性が大事で、首長が変わる度に議論をやり直している時間はない。常に挑戦し、努力していく。

任期満了に伴う萩市長選挙が3月24日に行われ、現職の野村興児氏(椿東・68歳)が市民の負託を受け、無所属新人で共産党推薦の玉置登代子氏(堀内・70歳)を破り、3期目の当選を果たしました。当日の有権者数は4万4887人、投票率は47・11%で、前回(60%)を下回りましたが、野村市長の得票数は1万6356票で77・3%でした。

## 野村市長に聞く

### 選挙戦の感想は

市内を2000キロ遊説し、各地域の実情がよく分かった。改めて市長としての責任の重さを感じ、地域の実情に応じた市政運営をしていきたい。

得票率(77%)は前回を上回り、今後もしっかりやっていくという評価をいただいた。

## 次の任期4年間の課題は

高齢者が安心して生活できる施設や環境の整備に努めたい。市の経済発展につながる山陰道と小郡萩道路の整備促進なども進める。また、著しい高齢化が進むなか、中山間地域の農業と集落維持のた

め、若者の定住対策に取り組む。世界遺産の登録、明倫小学校の跡地問題、5年後の明治維新150年の記念事業など、この4年間でメドをつけたい。

体力が続く限り市民の役に立ちたい。

## 趣味や特技、座右の銘は

趣味は萩、特技も萩！

健康維持のため、10年以上、早朝のウォーキングと松陰神社でのラジオ体操を続けている。

好きな言葉は、国税庁時代の上司が好んだ「天日昭昭」(天はすべて知っているの意)。

天日昭昭

てんじつしょうしょう  
自筆の天日昭昭

# 萩〜大島航路に新船が就航

萩海運有限会社が大島離島航路で運航していた船舶「たちばな2」の老朽化に伴い、大島島民の生活の利便性の向上を図るため、平成23年度から建造を進めていた、新船「はぎおおしま」の運航が4月1日から始まりまし。

大島出身の方だけでなく、萩に帰省されたときは、ぜひ一度乗船してみたいかがでしょうか。

## 日本一元気な島「大島」

大島は、巻き網漁を中心とした漁業では県内有数の水揚げを誇り、農業でもブロッコリーや葉タバコの産地として知られます。

また、離島としては珍しく、高齢化率が萩市の平均(約35%)よりも低く(約32%)、多くの若い人が大活躍しており、「日本一元気な島」ともいえます。

平成16年度から継続して、防波堤や岸壁、定期船発着岸壁等の整備などが行われ、25年度に完成の予定です。

## 「はぎおおしま」の特徴

大島〜萩航路のフェリーとして、定員数を「たちばな2」と変更せず(150人)、船体を大型化し、2トントラックが4台収容できま



くごと搬送もでき、利用者の利便性が向上しました。

船体はバリアフリー化が図られ、車いす専用トイレも完備されるなど、高齢者や障がい者の方にも優しく、安心して利用できるようになりました。

また、揺れが少なく、日本海の荒波の中でも安定した運航ができるようになりました。

※なお、見島航路「おにようず」のドック中は見島〜萩航路を運航

## ■問い合わせ

萩市商工課  
(0838・25・3108)  
運航については、萩海運有限会社  
(0838・25・2040)

# 高杉家が萩市と下関市に 晋作の遺品を寄贈



晋作肖像を前に握手をする、野村萩市長、高杉吟子さん、力さん、中尾下関市長

これを受けて、高杉家では、萩市には産着や皮胴かわうちなど幼少期から青年期まで、萩で過ごした時期の遺品69点を2月に、また下関市には晋作愛用の三味線など158点を4月にそれぞれ改めて寄贈されました。

力さんは、「遠回りしたが、亡き父（勝氏〔平成22年11月死去〕）の生前の願いがかない、ゆかりの地へ遺品の寄贈ができた。皆さんから愛してもらっている晋作の遺品を大切に活用してもらいたい」とあいさつしました。

野村萩市長は、「今年は奇兵隊結成150年の節目の年である。高杉家の英断に因って、両市でしっかりと守り、晋作の偉業を後世に伝えていきたい」と述べ、力さんに萩市から感謝状を贈呈しました。

また中尾下関市長も、「生誕の地・萩市と終焉の地・下関市が共同して、晋作をキーワードにまちづくりを進めていくことが両市の飛躍と活性化につながる」と感謝の言葉を述べました。

萩博物館では、テーマ展「奇兵隊の群像」（来年3月まで）、下関市立東行記念館では、企画展「高杉晋作と奇兵隊」（6月30日まで）がそれぞれ開催され、奇兵隊ゆかりの品とともに、晋作の遺品が展示されています。

稽古用革胴  
および草ずり（萩市）  
晋作が少年期、剣道の稽古に使ったもの



道中三味線（下関市）  
高杉晋作の愛用品。棹を分解して胴に収納できる細工が施されている

4月13日、高杉晋作の玄孫やしごにあたる高杉力さんと、その母の吟子れいこさんが萩市を訪問し、萩博物館で、野村萩市長と中尾下関市長と共に、晋作の遺品の両市への寄贈について報告がありました。

晋作の遺品227点の所有権については、晋作の墓所のある東行庵が、平成22年3月に萩市と高杉家を相手に提訴し、今年1月に最高裁が上告を棄却、所有権は子孫にあるとした広島高裁の判決が確定しました。

## 佐々並中学校が閉校

### 66年間で1747人の卒業生！

旭地域の佐々並中学校が今年3月で閉校し、明木中学校と統合しました。佐々並中学校は昭和22年に佐々並村立の中学校として開校し、以来66年間で1747人の卒業生を輩出してきました。

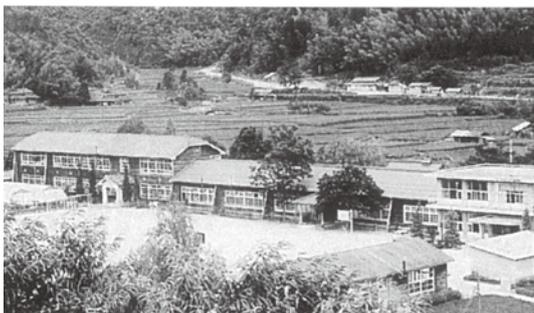
3月30日には閉校式が開催され、これまでの卒業生や赴任した教職員など約200人が出席し会場の佐々並中学校体育館を埋め尽くしました。

式典では出羽信雄校長が「閉校後も佐々並中学校が多くの方のふるさとであって欲しい」とあいさつ。式典後、校庭の一角に建てられた記念碑の除幕式があり、同窓会長の上野善治さんが「いつの日

かこの石碑を見て、ありし日の佐々並中学校を思い出していたください」とあいさつしました。記念碑には「我が心のふるさと佐々並中ありき」と刻まれています。

この日は、同窓会・閉校記念事業実行委員会の主催で「思い出を語る会」も開催され、卒業生など約160人が参加し、級友との思い出話に花を咲かせました。

今後、旧佐々並中学校の校舎と体育館に耐震補強工事を施したうえで、佐々並小学校を平成26年度に移転し、校舎1階に佐々並中学校の関連資料を展示する部屋を設ける計画です。



佐々並市のあたりに所在していた開校当時の校舎



「我が心のふるさと佐々並中ありき」と刻まれた記念碑と上野善治同窓会長

長州藩の豪商・梅屋七兵衛のひ孫  
元萩高・萩商業高の英語教諭

山本

孝夫さん  
たかお

(萩市浜崎新町出身 山口市在住  
萩北高校昭和25年卒 81歳)



タイ国バンコクにて

杏林の坂道



私の近況

(「杏林の坂道」出版)

平成10年(66歳)に萩から山口市に居を移しました。翌年「漱石と弓」と題した小文を岩波書店の

『図書』に載せてもらったことが縁で、同人誌『風響樹』に誘っていただきました。そこで、医者であった伯父のことを10年にわたって書きつづり、昨年の暮れに『杏林の坂道』と題して私家版を出しました。『長周新聞』に載った書評の一部を引用して拙著の紹介にさせていただきます。

「山口県北の寒村・宇田郷村で戦前、戦後にかけて医療に従事した緒方惟芳を主人公に、その生涯を家族や周辺の人々とのつながりのなかで描いている。惟芳は明治の萩に生まれ、(明治34年県立萩中学校を卒業前にして自ら中退)長崎の三菱造船所に勤務したが、日露戦争に従事する過酷な体験を経て「人助けは人間の本務」との信条を抱き医師を志す。その理想を宇田郷村の村民医療に献身するなかで貫き、子供たちにも厳しく教育し成長させる。

だが、長男の芳一(昭和7年萩中卒)は同じ医者への道を進むなかで、太平洋戦争に動員され硫黄島の激戦で戦死する。惟芳はその公報を受けることなく終戦の年に、多くの村民に惜しまれ畏敬の念に包まれてその生涯を閉じた。小説は惟芳の生涯の大きな節目ごとに、平時、戦時を問わず彼が生活した土地や芳一が無念の死を遂げた硫黄島などを舞台に織りなす人々の

気分・感情を静謐な筆致で、かつ多くの関係者の生きた証言や大切に保存されてきた書簡、日記などの資料をもとに臨場感をもって描いている」

梅屋七兵衛の曾孫として

私は子供の頃から、曾祖父が桂小五郎(木戸孝允)の内命を受けて長崎に赴き、さらに上海へ渡って鉄砲を購入した話をよく聞かされてきました。上海行きの前、七兵衛は「涙松の遺祉」の近くに梅園を造成し、羅浮亭という茶室を設えました。梅園の造成は天神様信仰によるもので、羅浮は中国広東省の梅の名所です。

のちに酒造業を営んだときも、屋号を梅屋、酒銘を箬と定めていますが、これは「箬の梅」の故事によるものです。先の梅園と防府天満宮の境内には紅白の梅を植栽し、「夢想 天満る薫をここに梅の華」の句碑を建てています。七兵衛が明治14年頃建てた家が、平成12年に伝統的建造物として改修されました。彼は晩年、そこで静かに茶を嗜む日々を送り、明治16年に62歳で世を去りました。

萩高時代の思い出など

私は昭和19年に県立萩中学校に入學し、昭和25年に県立萩北高等学校を卒業しました。「北高」という名称は我々の期だけです。入

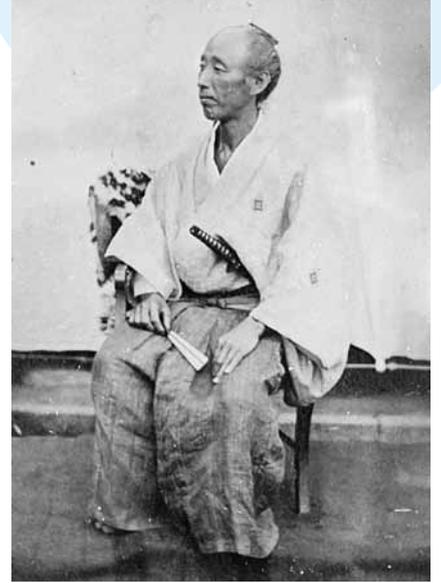
学して真っ先に覚えさせられたのが『士規七則』と、安藤紀一先生が作詞作曲された校歌です。「徒には立たじ学びの道に、徒には読まじ千巻の文を」で始まる格調高い校歌を、『士規七則』同様、その真意をよく理解しないまま歌ったり誦したりしていた事を、恥ずかしく思い出します。

昭和39年から59年まで母校で英語を教えました。今喧伝されている実用的な英語教育ではなく、文法や訳読中心の進学向けの授業でした。しかし実社会に入り、必要に迫られてやる者はやります。相撲部の顧問として、中国・全国大会へ度々選手を引率したことは良い思い出です。現在、伝統ある相撲部がなくなり一抹の淋しさを感じます。

■プロフィール

1932年(昭和7)2月萩市浜崎新町生まれ、  
1950年(昭和25)県立萩北高等学校卒業。  
1955年(昭和30)山口大学文理学部英米文学科卒業後、小野田高校、宇部高校、萩高校(昭和39年4月～59年3月)、萩商業高校(59年4月～平成7年3月)で勤務。退職後、萩女子短期大学に3年間非常勤勤務。  
現在、山口市吉敷在住。

# 梅屋七兵衛と「羅浮亭」



梅屋七兵衛 (明治5年撮影)

萩市椿の笠屋地区にある、萩往還「梅林園」の梅の花が、今年も見事な開花を見せました。

梅林園は平成4年、萩出身の実業家日隈広吉さん（萩商業昭和14年卒、平成10年逝去）が苗木250本を寄贈され、市が整備したものです。当初、成長不良な時期もありましたが、土壌改良などの努力により美しい紅梅・白梅を咲かせるようになりました。

この地に梅林園が整備されたのは、幕末の豪商梅屋七兵衛が「羅浮亭」という茶室と梅林を、現在の涙松跡の下付近に構えたことに因んでいます。現在、若干位置は移動していますが、跡を記す石碑が建立されています。

梅屋七兵衛は、本姓を山本とい、文政4年（1821）に浜崎に生まれ北国問屋を営みました。嘉永5年（1852）、大屋の土地を開墾し、多くの梅樹を植え、茶室を設けます。この梅林は

有名になり、松陰先生も訪れたと伝わっています。酒造業を始めたとき、屋号を「梅屋」としましたが、夢枕に天神様が現れたため、梅林を造ったことに由来しています。

慶応元年（1865）4月、藩の武具方御用達に任じられていた七兵衛は、小銃1000挺購入の命を受け、長崎で外国商人と交渉を始めます。当時幕府と対立していた長州は長崎へ入国することが制限されていたため、木戸孝允らと相談の上、芸州（広島）人という偽の通行手形を準備します。

知己のあるオランダ商人との交渉は不調で、イギリス商人と改めて交渉、契約を行います。オランダ商人はこれを恨み、長崎奉行に密告したため捕らえられます。偽の通行手形をたてに長州人でないことを主張し、いったん宿に返された際、危険を感じてイギリス商人と上海へ逃れます。そして1年後、新式銃とともに現在の長門

市仙崎港へ帰着、鉄砲は無事に長州藩へと引き渡されました。七兵衛が命懸けで入手したこの新式銃は、その後、戊辰戦争などで活躍、新政府軍の勝利に貢献しました。

（「梅屋七兵衛旧宅記録誌」山本孝夫さんの紹介記事より）  
 ぜひ来春は、七兵衛ゆかりの地に咲く梅林の花を愛でてみてはいかがでしょう。



萩往還梅林園 紅梅・白梅など 300本



「涙松の遺址」近くに建つ羅浮亭跡の石碑

## 萩おもてなし大賞受賞！

### 松陰先生の墓を守る会

萩の吉田家墓地に埋葬されている松陰先生の墓の清掃管理を目的に、有志により結成された「松陰先生の墓を守る会」が、3月6日、「萩おもてなし大賞」を受賞しました。萩おもてなし推進協議会が平成10年から主催しているもので、市民部門22件から大賞に選ばれました。

■事務局長の郷田正則さん（椿東）に聞く

同会は、昭和38年設立、会員は約50人（うち女性8人）で、毎月2回、10人の会員が周辺の清掃を行い、また、松陰先生の命日の日には法要を行うなど、松陰先生の人間性を語り継ぐ活動をしています。

日常的に松陰先生の墓を守る奉仕活動が続けており、特に、明治100年の昭和43年と平成元年には、石垣の手配や寄付などの苦労も重ね、入口周辺の石垣などの大規模な整備を行いました。現在は名所として多くの観光客が訪れるようになり、平



松陰先生墓所 (椿東椎原)

成18年には、当時の小泉首相も墓所を参拝されました。

#### ■松陰先生の墓所

世田谷の松陰神社内にある松陰先生の墓は、処刑直後に小塚原回向院に供養された墓を、文久3年（1863）、毛利家別邸があつた場所に、高杉晋作や伊藤博文らが改葬したものです。

また萩の田床山麓の松陰誕生地そばにある墓所は、処刑後100日目の万延元年（1860）2月7日に、杉家や晋作、久坂玄瑞など門人により、先生を弔い遺髪が埋葬されました。墓碑には、「松陰、二十一回猛士墓」と刻まれ、墓前には、門下生17人が寄進した石製水盤、花立、燈籠が供えられています。



第6代会長の井上弘行さん(椿)

# 大学の創設と 萩の先人たち 下

## 7 「日本大学」と山田顕義

明治22年に明治憲法が公布され、翌年教育勅語が公布されるなど、日本は着々と近代国家としての体裁を整えていきました。当時わが国は欧米法が中心でしたが、時の司法大臣山田顕義は、国情に合った日本の法学の樹立が必要であると、自らが所長を務めていた皇典講究所を母体に明治3年「日本法律学校」を創設しました。

\*山田顕義は、明治4年(1871) 岩倉遣欧使節団に随行して欧米の制度・法律を学び、参議などを歴任したあと、内閣制度が発足した明治18年から24年まで司法大臣を務め、近代的法治主義の基礎を確立しました。しかし、明治25年11月、萩に帰郷して帰京の途次、生野鉦山を視察中に急逝しました。突然の変事は大学に廢校の危機をもたらしましたが、これ乗り越えて発展を続け、現在わが国最大の総合大学に成長しました。

山田は、萩の松陰神社内の松門神社に合祀されています。日本大学は、萩市の生誕地に「史跡公園・顕義園」を整備して、学祖山田顕義の銅像を建立して顕彰しています。



日本大学初の独立校舎(明治30年代)

## 8 「國學院大学」と山田顕義

神道の研究・教育機関として明治15年に皇典講究所が設置され、山田顕義が所長に就任すると「本所は学校を設け、生徒を教育し、国家特性の元気を振起し、成徳達才を以って立国の基礎を築か

る」として明治23年(1890)「国学院」を開設しました。山田は、自らが設立した「国学院」と「日本法律学校」をいづれ合体させるつもりだったといわれています。

国学院は、順調に発展しましたが、第2次世界大戦後、神道をめぐりGHQから「神社・神道が戦争遂行の精神的支柱であった」と指摘され解体の危機もありました。これ乗り越えて社会の安定とともに充実を重ね、神道文化学部のほか人間開発学部などを拡充して現在に至っています。

## 9 「拓殖大学」と桂太郎

拓殖大学は、明治33年(1900)、台湾協会学校として設立されました。台湾協会は、日清戦争の勝利によって割譲された台湾の「開拓殖民」を目的に設立されたもので、初代会頭、初代校長はともに台湾総督の桂太郎でした。

\*桂太郎は、藩校明倫館出身。ドイツに留学後、山県有朋を補佐して近代兵制を整備した軍人政治家で、後年、総理大臣を3回務め元老となりました。台湾協会は、就業年数3年の男子校で、講義は政治、経済のほか台湾語、中国語、英語の語学教育に力が注がれました。

台湾の統治と開発は当初困難を極めました。第4代総督児玉源

太郎が着任した明治31年頃から軌道に乗り、学校は国策の支援体制に組み込まれる形で活発化し、学生は実学に勤しみました。



明治43年(1901)に落成した校舎

明治37年、日露戦争が勃発すると卒業生は陸軍通訳として戦線に従軍しました。

東アジアの政治状況の変転に応じて、明治40年、東洋協会専門学校となり、「雄渾」を旗印に海外に進出しました。拓殖大学の生々流転は明治の時代精神とともにあり、明治という時代背景は拓殖大学史そのものとも言えます。

拓殖大学は、発展を続け開学100周年を記念して萩市の桂太郎旧邸に桂の銅像を建立して顕彰しています。

## 10 「日本女子大学」と成瀬仁蔵

日本女子大学は、女子の高等教育に疑問や批判が多い時代の明治

34年(1901)に設立されました。創立者は、長州藩吉敷毛利家の藩士成瀬仁蔵で、安政5年(1858)に生れ、明治9年山口県教員養成所を卒業して教員になりました。

\*成瀬仁蔵は、同郷のキリスト教伝道者澤山保羅の影響で洗礼を受け、明治23年から4年間渡米して女子教育の重要さを学びました。帰国後梅花女学校校長となり、女子大学の設立運動に入りました。伊藤博文や、渋沢栄一ら政財界の有力者へ働きかけ、三井家から目白台の5500坪の土地の寄付を受けて女子大の開校にこぎつけました。教育方針は、「個人の特性に応じた教育によって、自立的な人間になることを期待する」ものでした。その後施設は、萩出身の財界人藤田伝三郎から自らの雅号を冠した「香雪化学館」の建設費を受けるなどして体裁を整えていきました。創設者成瀬仁蔵の没後

も、建学の精神「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」を守り、日本最古の女子大学として発展を続けています。

## 11 「日本医科大学」と山根正次

明治37年、川上元次郎、磯部検蔵らは、衆議院議員を務めていた萩出身の医政家の山根正次を校長として「私立日本医学校」を設立

しました。当時医師を育成する教育制度は問題が多かったことから、各界に通じた医政家山根の起用が必要だったのです。明治43年、経営不振に陥った東京医学校を合併し本拠を本郷に移転しました。

明治45年、医師開業試験の受験資格をめぐって紛糾した際、医学校は、専門学校令に従って「財団法人私立日本医学専門学校」となりました。その後、この専門学校

は質的にも規模的にも発展し、大正15年「日本医科大学」へ昇格しました。太平洋戦争では大きな被害にあい疎開を余儀なくされましたが昭和22年千駄木に復帰しました。

\*山根正次は、萩の出身で東京大学医学部を卒業して長崎で臨床医学を学び、ドイツに留学して公衆衛生学と法医学を修学しました。また衆議院議員として「医師法」を成立させたほか公衆衛生の向上に努め「公衆衛生の父」と呼ばれました。

12 「国士館大学」と三浦梧楼・山県伊三郎

明治維新後、日本は、西洋文明を積極的に取り入れ近代化を推進しましたが、日露戦争後はそのひずみもまた増していました。大正元年（1912）の第一次護憲運動の広がりの中、柴田徳次郎ら有志は、萩出身の軍人政治家三浦梧

楼と政治結社の代表頭山満を顧問に迎えて「青年大民団」を組織して啓蒙活動を行い、大正6年（1917）夜間の私塾「国士館」を創設しました。

国士館は、吉田松陰の精神を範とし、日々の実践のなかで心身の鍛錬と人格の陶冶を図り国家に貢献する人材を育成するとして、「読書・体験・反省」の実践を求めています。

\*三浦梧楼は、萩藩士でありながら藩閥政治を排した剛毅な軍人政治家で、時の政局を周旋し、学習院長もつとめました。国士館は、昭和4年に専門学校へ移行する際、山県有朋の養子で板密顧問官の伊三郎の仲介で毛利家所有の山林六千坪を譲り受けて用地に充てました。

学風は、吉田松陰の「至誠」の



創立期の国士館(1919年)

考え方が大きく影響しています。昭和13年、国士館内に萩から木材石材を運び、松下村塾と同じ工法で「景松塾」を建立しました。「景松塾」はその後東京世田谷の松陰神社に寄贈され、現存しています。

13 「山口大学」と上田鳳陽

山口大学は、文化12年（1815）、萩藩士の上田鳳陽が藩に申し立てて学問所「山口講堂」を設立したのが始まりで、文久3年（1863）藩庁が山口に移った際に「山口明倫館」となりました。明治3年「山口中学」となり、明治19年、中学校令により全国に高等中学校が設置されましたが、山口高等学校は、ナンバースクールにはなりませんでした。それは、山口県の教育は、他県と違い、防

長教育会が主導してきたという歴史があるためで、山口の地名を残したかったのです。明治27年（1894）に山口高等学校に、さらに変遷を経て戦後現在の山口大学となりました。その間、県師範学校、県立農業学校、県立医科大学を統合しました。山口大学は、今も地域の中核大学として衆望を担っています。

\*上田鳳陽は、寛政12年（1800）、32歳の時萩に遊学して藩校明倫館での修学を終え、山口で藩士の教導に尽力しました。しかし、

教育の場の不備と書籍の乏しさを憂え、47歳の時、「山口講堂」の設立に奔走したのです。その献身的な活躍は、やがて藩主にも感銘を与え、天保5年（1834）藩主毛利敬親は、鳳陽の長年の労をねぎらい自筆の聖号を贈りました。

■おわりに

萩の先人たちは、ともすれば富国強兵策を牽引して日本の近代化に貢献したと教えられるしてきましたが、実は、彼らは、私たちが思っている以上に長期的な視点で、日本の行く末に思いを馳せ、人材の

育成に鋭意努力していたことを知り、その大局観に心温まる思いです。

明治期をリードした萩の人たちが、吉田松陰の精神を脈々と受け継ぎ、大いに発奮したこと証左でありましょう。時の流れの中で、私たちは時として萩の先人たちが築き上げてきた偉大な文化事業を忘れてしまいそうです。これを機会に今一度これらに思いを致し、子どもたちの未来に意を注ぎたいものです。

（高木正照 エッセイスト 日本ペンクラブ会員）

参考 萩ゆかりの人たちが創設に関与した大学

1815年(文化12)	山口講堂設置、山口大学	上田鳳陽
1872年(明治5)	学制公布	
1873年(明治6)	工部寮工学校開設、東京大学工学部 秋田伝習学校創立、秋田大学	山尾庸三 国司仙吉
1880年(明治13)	大阪商業講習所設立、大阪市立大学	藤田伝三郎
1881年(明治14)	東京職工学校設立、東京工業大学 東京物理学講習所、東京理科大学	正木退蔵 中村精男
1883年(明治16)	独逸学協会学校、独協大学	品川弥二郎
1886年(明治19)	中学校令公布	
1889年(明治22)	日本法律学校創立、日本大学	山田顕義
1890年(明治23)	国学院創設、国学院大学	山田顕義
1894年(明治27)	高等学校令公布	
1900年(明治33)	台湾協会学校創立、拓殖大学	桂太郎
1901年(明治34)	日本女子大学創立、日本女子大学	成瀬仁蔵
1904年(明治37)	私立日本医学校創立、日本医科大学	山根正次
1910年(明治43)	秋田鉱山専門学校設置、秋田大学	藤田伝三郎
1917年(大正6)	私塾「国士館」創立、国士館大学	三浦梧楼・山県伊三郎
1918年(大正7)	大学令公布	

# 夢 追人

## 萩野菜を売り込め!

### 農業起業家

むくのき  
**椋木**

あきお  
**章雄**さん

(萩市南古萩町、萩高平成12年卒(52期) 31歳)



スーパー2カ所で椋木プロデュースの「萩野菜」を販売しています。

冬場は、さすがに野菜が品薄でビックリしましたが、それでも思った以上に売上は上がり、予定通り事業拡大に向かえそうです。とはいえ、地元農業の将来と雇

地域農業が継続できる可能性として、萩産農作物の価値を上げ消費量を増やす事が必須と考え、地元農作物を購買行動心理に基づきプロデュースし、「萩野菜」としてマーケットに送り込み、ブランド化を試みる農業起業家・椋木章雄さんにお話を聞きました。

### この人の下で働きたい!

高校卒業後、東京の外国語専門学校に進学し、社会人となってからは、やりたい事どころではなく、まず生活のために働いていました。そんな僕が、萩に帰って起業しようと思うきっかけとなったのは、勤めていた会社の移転と、当時読んでいた司馬遼太郎の本でした。

思い立ったように萩に戻って来たため、何を起業すれば良いのかわからず、ただ「この萩の将来のため雇用を創出したい」と思うばかりでした。そんな時、テレビ「ガイアの夜明け」で、道の駅・萩しーまーとの駅長・中澤さかなさんがクローズアップされていた番組を見て、「この人の下で働き勉

強するしかない!」と心に火が付

き、直ぐに思いの丈を手紙にし中

澤さんに送ります。しかし、返答

は「NO」。いきなり見ず知らず

の得体の知れない者を受け入れる

はずはないと想定済みでしたので、

押けることなく、今度は、萩しー

まーとがなぜこんなに繁盛してい

るのかを、県内すべての道の駅を

回り、比較レポートを作成し、中

澤さんに提出します。すると、有

難いことに2回目のアタックにし

て「OK」をいただき、緊急雇用

助成事業枠で萩しーまーとに身を

置き、中澤さんの下で働き勉強さ

せてもらえるようになりました。

### 地元野菜の将来

萩しーまーとで働き始めてからは、通常業務とは別に「萩の1次産業の情報発信しなさい」と指令を受け、休日は漁師さんや農家さんのところに取材に行き、その情報をネット配信しました。取材をしていくうちに萩の農業の現状を知り、「このままでは…」と強く感じ「何とかしなければ!」と思

うようようになりました。

その「何とかしなければ!」に

取り組むにあたり、中澤さんから

学ばせてもらうことは多く、マー

ケティング、特にマーチャダイジ

ング(商品化計画)をしつかり行

うことで、萩の農業の将来に希望

が持てるのではないかと、そして魅

力あるビジネスとなれば、新規就

農者も増え、雇用も生まれるので

はないかと考えるようになりまし

た。

### 農業で起業

まず、チャレンジしたのが、農作物の生産。むつみ地域の畑を借り、白菜を5000株植えました。しかし、数カ月後市場に出せるものとして収穫できたのは500株ほど。改めて農家の大変さを感じました。

その後、当時、萩市と共に商品開発をしていた「アルケッチアーノ」の奥田政行シェフから「農業をやるならウチの店に来て流通を学びなさい」と言われ、萩しーまーとでの就労期間を終えた後、山形

庄内に1カ月、流通を学びに行きます。

そこで改めて重要性を感じたのはプロデュース力。悪いものを良く感じてもらおうようにするのは駄目ですが、良いものを何もせず市場に出しても、多くの人に良いものとは感じてもらえず、野菜は野菜として消費されるだけ。そこで、萩で生産される高品質の農作物を購買行動心理に基づきプロデュースすることで、新しい販路を農家さんに提供でき、ビジネスとしてやっていけるだろうと確信しました。

### 雇用創出

山形から帰ってきてからは、野菜を提供してくれる農家さん、ブースを設けさせてもらえるスーパーを求め、探し回ります。そうして、昨年8月から、地元農家さんから旬の野菜を仕入れ、市内

用促進には遠く及ぶものではなく、更なる販路拡大に合わせ契約農家を増やし、自社で農作物を生産することも視野に入れ、クリアしなければならぬハードルを一つひとつ越えて行く必要があります。そのために、来年は法人化して、必ず雇用を生み出したいと思います。

■プロフィール  
1981(昭和56年)、山口市生まれ。明倫小、指月中、萩高卒業。  
080・6309・2551



現在アトラス萩、キヌヤ菊ヶ浜店にて「萩野菜」ブースを展開中

# 夢 追人

## 「萩の陶芸家たち展」で大賞！

船崎窯

船崎

透さん

（萩市椿東後小畑、48歳）

萩陶芸家協会設立20周年を記念して、4月6日から5月19日まで山口県立萩美術館・浦上記念館で開催されている「萩の陶芸家たち展」。その展覧会に出品された107点の中から見事大賞に選ばれた船崎透さん（出品作品：白萩流文器、写真）にお話を聞きました。

### 萩焼の世界

私が6歳のときに、一度断念した陶芸家の道を再度志した父は、知人から紹介され、陶芸王国・九州で職人となります。その後、陶芸が盛んな土地に数度移住します



「白萩流文器」  
しらびまりゆんぎ

が、最終的には紹介してくれた知人が居るこの萩に根を下ろします。その頃は小学4年生。萩焼に興味を持つことはなかったのですが、見まいと思っても目の中に入ってくるらしい身近にある存在でした。

そんな私が陶芸家になろうと決めたのは、高校3年の進路を決める時期。ちょうどその頃、十二代三輪休雪さん（当時、龍作）の作品を拝見し、自分が持つイメージにはない芸術品としての萩焼の世界を感じ、惹きつけられ、山口芸術短期大学で彫刻を学びます。

### 陶芸の師

卒業後、父の窯元に身を置き、陶芸家となるため修業を始めます。しかしながら、自分の中で何か燃焼できないものがあり、このままで良いのかと悩んでいたところ、三輪窯で助手の募集をかけているのを知り、すぐさま先生にお願いし、助手として、3年ほど学ばせてもらいます。

この3年間は今の自分を築き上

げた、今までの人生で一番貴重な時間であり、モノを創る姿勢や創る家にとつて何が大切かを先生から学ばせてもらえました。この萩に来て、萩焼を知り、陶芸家となるきっかけは父が与えてくれ、その魅力に気付かされ、教え与えてくれたのは三輪先生。師であると同時に、心に火を付けてくれた恩人でもあります。

### 全カスタート

3年の助手生活を終え、再度父の窯元に身を置きますが、今度は部屋を別に構え、自らの名前で作陶し始めます。そうして27歳の頃に、今ある船崎窯を何も無い所から立ち上げます。木を切り、整地し、登り窯を備え、小屋を建て、丸々借金からの出発でしたので、自らの手でできることは可能な限りしました。また、その時には結婚しており、少なからず不安もありましたが、三輪先生が与えてくれた情熱が、陶芸家の道を全力で駆け出す原動力となり、勢いよく

前に進むことができました。

### 人、社会と繋がる

それから20年、根本的な姿勢は変わらず、ものづくりへの情熱は冷めることなく今に至ります。作品展に出品し、幾つかの賞を受賞することもできました。賞をいただくことはとてもありがたく嬉し

れ、自分を燃焼させてくれるエネルギーとなります。今の自分の力をすべて注げたかどうか、今の自分を形成する、技術や知識、文化人との出会いを作品に変換できているか……。ゴールが無いこの道を歩み続け、凜とした生命力のある作品を追求し、人と繋がり生きていきたいと思えます。



いものですが、基本的には、一つの作品を制作するプロセスを重要視し、その作品を見てくれた人の心の中で何かが生まれるようなものとなり、作品を通して人と社会と繋がるのができればと考えています。作品は作者が作って完結はしません。

### ■陶歴

- 1964 (昭和39)年、島根県津和野町生まれ
- 1984年 山口芸術短期大学卒業
- 1986年 第十二代三輪休雪に師事
- 1999年 NHK連続ドラマ「緋が走る」登場作品作陶
- 2002年 第99回九州山口陶磁展 第2位受賞
- 2004年 第53回萩市美展 大賞受賞
- 2006年 第26回西日本陶芸美術展 鹿児島県知事賞受賞
- 2009年 第20回日本陶芸展 入選
- 2011年 萩市文化奨励賞受賞

住所：萩市椿東5738・31  
0838・26・5552 ■船崎窯



招きネコ



角田宗岳住職

## ネコ寺として 親しまれる雲林寺

(むつみ地域)

住職 すみだ そうがく  
角田 宗岳さん(43歳)

ネコ絵馬



ネコ型のお堂と  
石造りのネコ



平成8年に萩市に移り住み、檀家の方々と共に寺を、仏様を守りつつ、近年ではネコ寺として多くの参拝客が訪れるという、むつみ地域吉部にある雲林寺の住職・角田宗岳さんにお話を聞きました。

### 本好き

生まれは愛媛。物心つく前に大阪に移り住み、その後岡山で育ちました。2度の転居は輪島塗職人であった父の仕事の事情でしたが、祖父、叔父が住職でしたので、お寺というものがわりと身近にある環境だったと思います。

本が好きだったので、小学生の頃は本に囲まれた生活を夢見ていました。中学生当時は桂枝雀が大好きで、将来は落語家になるのも

いいなと思っていました。高校に入り、進路に迷い漠然とした不安の中、関大徹老師、澤木興道老師、内山興正老師など禅の書籍に出会い、無一物の生き方に惹かれながらも、お坊さんは本が読めてお説教ができるから、本屋と落語家を足して二で割ったようなものであろうと、手前勝手な想像の下、この道を進むことになりました。

### 移住

宗門の学校を卒業して、そのまま修行道場へ行くのが通例です。私は全く世間知らずのまま僧侶となる事に疑問を感じていました。師や親に無理を言って印刷会社就職し3年ほど働きます。それから、広島県三原市の佛通寺、山口市・雪舟庭の常栄寺に雲水として

修行に行きました。

その後、長く空き寺だった雲林寺とご縁を得て、17年前この地に移住し住職となりました。住職として最初の仕事は、雨漏りする場所にタライを置いて回る事。この地に来て、何よりも嬉しかったのは地域の方々が本当に良くしてくれたこと。孫や曾孫と変わらないう年齢でしたが、とてもかわいがっていたきました。檀家さんからのご支援のもと建物を修繕することもできました。

### 招き猫

最近、この雲林寺はネコ好きが集まる寺として注目されています。そのきっかけとなったのは、7年前、我が子のように私をかわいがってくれていた母の親友が亡くなり、その方が集めていた招き猫の置物を数十体、形見分けに預かったことです。その招き猫をお寺に飾ったところ、あちこちから招き猫が寄せられ、またご奉納して下さる方もあり、徐々に招き猫が増えていきました。

4年前のある日。防府から来られた自営業者の方が招き猫の置物を携帯電話で撮影し、待ち受け画面にしたところ、途端に商売が繁盛するという出来事がありました。口伝えでその話は広まり、山陽側から参拝客が多く訪れるようになりました。

### 縁

雲林寺の親寺である天樹院は、毛利輝元公の墓所で有名であると同時に、輝元公逝去の折、殉死した家臣・長井元房の墓石があります。その元房がかわいがっていた猫が、元房亡き後49日間、墓石から離れようとせず、その後、自らの舌を噛み切つて主のお供をしたという伝説があります。

天樹院の子寺である雲林寺が、ネコ寺として人々に親しまれるようになったのは、強い「縁」というものを感じざるを得ませんでした。ぜひ、その縁というものを大事にしたい、多くの方と共有したいと、その伝説を「招福堂縁起絵巻」と題して発行しました。また、猫好きの方が多く訪れるので、訪れた方が喜んでくださるように、猫のお守りや猫の絵馬、お札を作りました。とはいえ、本道は地域の皆さまに、ご先祖様を見守る和尚がいてくれると安心してもらうこと。それを大切に、ここを訪れた方の心が和んで、歴史の町萩を身近に感じ、萩をもっと好きになつてもうえたらと心から願っています。

★ネコ鈴守りをプレゼントします。

臨濟宗 南禅寺派  
「栖云山 雲林寺」  
住所：萩市大字吉部上 2489  
☎ 08388・6・0307

# 「ひこにゃん」とゆるキャラ対決

## 萩にゃん 誕生!



かけて欲しい、「にゃん」(萩にゃん談)。

■問い合わせ

萩市市民活動推進課内萩市消費生活センター  
(08338250999)

夏みかんをデザインしたボタンをつけた軍服に、羽織、陣笠をかぶり、きりりとひきしまった眼で悪徳業者を見逃さない正義の猫「萩にゃん」。観光イベントでも活躍するにゃん。

昨今の「ゆるキャラ」ブームの中、いよいよ萩市にもマスコットキャラクターが誕生しました。消費生活イベントなどに活躍する「萩にゃん」。このたび、萩市消費生活センターが着ぐるみを制作、愛称とともに初披露しました。

萩には、忠義の猫の伝説が残っています。また、この伝説に由来する筋名が今も残っています。

気まぐれで、自由気ままと思われている猫ですが、忠義を尽くした猫も萩にいたのです。そして再び、悪徳業者などに困っている萩市民のため、悪を許さない忠義の猫として生まれ変わりました。

愛称は公募により、207点の応募の中から、10人の応募があった「萩にゃん」に決定しました。

この萩にゃんは、5月1日から行われる「萩焼まつり」で皆さんの前に登場します。

「イベントなどで見かけたときは、『萩にゃん!』と気軽に声を

### 猫町の伝説とは・・・

毛利輝元の家臣・長井元房には、かわいがっていた猫がいました。彼が輝元の後を追って殉死すると、その猫も、主人の後を追って主人の墓の前で死んでいったそうです。

堀内の筋に長井の屋敷があったことから、名前の由来となりました(「萩まち歩きマップ」より)。

場所は、現在の萩博物館の西側の筋となります。

※萩の筋名が紹介された「萩まち歩きマップ」は萩まちじゅう博物館ホームページ (<http://machihaku.city.hagi.lg.jp/satellite/map.htm>) でご覧いただけます。



## 明木地区

### 桜の名所「石の巷山に千本桜」

旭地域明木地区の石の巷山で桜の植栽や管理を行っている「石の巷山桜保存会」が、昨年、日本さくらの会から「さくら功労賞」を、また林道維持管理コンクルの農林水産大臣表彰を受賞しました。

桜の植栽は、「明木中学校卒業生の思い出の山にしよう」と、当時PTA会長であった、石の巷山桜保存会前会長で現在顧問を務める岡村善武さん(明木、73歳)が発起人となり、1000本の植栽を目指して昭和62年から始まりました。平成14年には、1000本の目標を達成し、以来桜の名所として多くの方が訪れています。

#### ◆岡村善武さんに聞く

「長くやっていて良かったと思います。人口減少と少子高齢化により厳しい状況で、今後は若い人の参加が欲しいところです。萩地域から石の巷山へ来られる方も多く、合併して萩市となったので、明木地区だけでなく他の地域からのボランティアを募るなど萩市全体で盛り上げていけたらと思っています。」



桜とともに山頂からの眺めも絶景



桜保存会の岡村善武さん

4月14日には、桜植樹25周年を記念した花見ツアーと祝賀会が開催されました。地元の方だけでなく、関西在住の旧旭村、旧川上村出身者からなる関西山峡会からも参加され、寄付した桜の成長の様子や故郷の人との思い出話などを楽しみました。



左から、  
中田英寿さん、  
刀禰勇代表取締役



雑誌「UOMO」  
(ウオモ、集英社)  
4月号で紹介

## タケ・クリエイト・ハギが

## 中田英寿さんのリビュー・ニッポン・プロジェクトに参加



萩の竹で作られたスクリーン

元サッカー選手の中田英寿さんひでとしが代表理事を務める一般財団法人 TAKE ACTION FOUNDATION (テイク・アクション・ファンデーション) が、日本の伝統工芸の新たな価値を再発見し伝統文化の発展を促すことを目的に立ち上げた「REVALUE NIPPON PROJECT」(リビュー・ニッポン・プロジェクト)の2012年のテーマ「竹」に、北歐風の家具を集めている「TAKE Create Lab.」(タケ・クリエイト・ハギ、刀禰勇代表取締役)が参加しました。

このプロジェクトは2009年にスタートし、これまでに陶磁器、和紙がテーマとして取り上げられ、工芸作家とデザイナーなどがコラボレーションして作品を発表するものです。

今回は全5チームが参加し、タケ・クリエイト・ハギは、ファッションエディターの祐真朋樹さんすけまねとデザイナーの阿部潤一さんとコラボレーションし、二つの空間を隔てるスクリーンを制作(写真)。

緩急のある滑らかな曲線美が特徴で、和にも洋にも溶け込むモダンでユニバーサルな印象の作品に仕上がりました。このさまざまな曲線が実現できたのもタケ・クリエイト・ハギの技術力と粘り、しなりのある萩の竹だからこそ。

今年2月9日、このプロジェクトで制作された作品の披露やオークションが行われ、高い評価で落札されました。存在感のあるこのスクリーンは会場でも参加者の注目を集め、「商品化してほしい」との声も。

今回のプロジェクトでタケ・クリエイト・ハギの技術力の高さが証明されるとともに、良質な萩の竹の更なる可能性が再発見されました。

### 阿武町

## 阿武町長選挙

## 中村秀明氏が3期目当選!!

任期満了に伴う阿武町長選挙が4月14日に行われ、現職の中村秀明氏しゅめい(奈古、60歳)が、無所属新人の白松博之氏ひろゆき(福賀、66歳)を破り、3期目の当選を果たしました。

当日の有権者数は3289人、投票率は77・29%で得票数は1977票でした。

### ◆中村町長に聞く

#### 「阿武町の課題は産業の振興と定住の促進」

#### ○産業振興

町の基幹産業である農林水産業をはじめとする一次産業の振興はもちろんですが、企業誘致も視野に入れた動きを加速化していくために、今後は町外の皆さんにも多々ご協力をお願いする場面も増えてくると思います。

私自身が動き企業に出向くトツ



当選証書を受け取る中村町長

#### □町長のプロフィール

昭和28年(1953)生まれ  
萩高昭和46年卒(第23期)

#### [略歴]

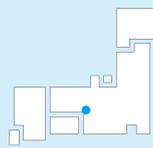
阿武町役場企画課長・総務課長  
平成17年5月 阿武町長初当選

プセールスはもちろんですが、今後は町人会の設立なども進めながら、阿武町を支えてくださる皆さんと連携のとれる仕組みづくりを進めます。

#### ○定住対策

分譲宅地の造成や公営住宅の建設、公園の整備など、阿武町に魅力を感じ、定住を希望される方々の受け皿を整備していきます。

産業振興の拠点施設として、また、交流拠点施設として町内外から大きな注目を集めている「道の駅阿武町」のリニューアルを成功させるとともに、「命の道」でもある山陰自動車道の早期改良要望等も推進し、これからも、「町民主役のまちづくり」「未来にひろがる安心なまちづくり」「自立と協働のまちづくり」を全力で進めていきます。



「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp

## 大阪指月会

4月14日

大阪弥生会館(大阪市北区)



金子直さんの実家、田槌商店の海産物販売

50人が出席、会長の伊藤孝さん(68歳、16期)と同じ68回目の開催。今年4月着任の中村充範校長からは、今年の新1年生は普通科3クラス、理数科1クラスと生徒数の減少が報告されました。

プロ40年目の現役プロボウラーの横尾(末武)早苗さん(21期)も出席し、「萩に帰ってボウリング場をやりたい」。初めて参加した金子(加藤)直さん(43期)は「大阪に嫁いで14年、久しぶりに萩の話ができました」。

会員投稿



3月17日 551 蓬莱 (大阪市)

## 初めての「おおさか三見会」



近畿在住の三見出身の方たちに一度会いたいという声があり「おおさか三見会」の発足となりました。

なんせ初めての試みで名簿がある訳でもなく、全く手さぐり状態でしたが、お互いに声をかけ合い、誘い合わせて14人もの方々が難波の中華料理店「551 蓬莱」に集いました。

時々帰郷する人から帰郷できない人へ、萩・三隅道路(山陰道)ができて変わった萩や三見の様子を語り、なかには三見の中で迷子になったとか(大爆笑)、懐かしい昔話で楽しいひとときを過ごし、次回の約束までこぎつけました。来年は参加者が何人増えるか今から楽しみです。会長は景由昌輔さん 三嶋(旧姓 池本)千代乃(大阪府高槻市)

### ■萩市・阿武町内高校卒業者の進路状況

学校名	卒業 者数	大学		就職		専修学校ほか	
		全体	うち萩市	全体	うち萩市	全体	うち萩市
萩高校	170人	133人	1人	5人	2人	32人	4人
萩商工高校	175人	14人	1人	108人	18人	53人	1人
萩光塩学院高校	32人	11人	1人	5人	4人	16人	0人
奈古高校	51人	9人	3人	30人	15人	12人	1人
合計	428人	167人	6人	148人	39人	113人	6人

今年3月に卒業した萩市と阿武町の高校の卒業生は428人で、そのうち市内に残ったのは、大学6人、就職39人、専修学校など6人の合計51人で、卒業生の12%でした。9割弱の若者が、市外・県外へ進学・就職しました。

■萩高生の進路先  
 今年3月に卒業した萩市と阿武町の高校の卒業生は428人で、そのうち市内に残ったのは、大学6人、就職39人、専修学校など6人の合計51人で、卒業生の12%でした。9割弱の若者が、市外・県外へ進学・就職しました。

地方	進学	就職	計
関東	4人	7人	11人
東海	0人	2人	2人
関西	6人	14人	20人
中国(山口県内)	30人 (26人)	83人 (56人)	113人 (82人)
四国	0人	1人	1人
九州・沖縄	26人	1人	27人
海外	1人	0人	1人
合計	67人	108人	175人

■萩商工高生の進路先  
 卒業生の全員が進学、就職し今年も全員の進学や就職が確定した萩商工卒業生は、就職が108人、進学が67人でした。進路先は、中国地方が113人で64%、そのうち山口県内は82人で、地元に残ったのは20人でした。

地方	人数
関東	13人
関西	22人
中国(山口県内)	88人 (63人)
四国	4人
九州・沖縄	43人
合計	170人

高校卒業生 萩に残るのは約1割!

# 情報アラカルト

## 関東地区

### ふるさと萩・小川会

旧田万川町小川出身者の関東地区同窓会。

6月9日(日) 正午～午後3時  
東京都品川区大崎1-6-2  
ニューオータニイン東京  
(090-9673-2296) 佐伯

### 岡田泰作陶展

5月7日(火)～13日(月)  
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1  
そごう大宮店  
(048-646-2111)

### 紀ノ国屋「萩・長門フェア」

水揚げされたその日に届く新鮮な魚介類や蒲鉾などの水産加工品、夏みかんの商品を販売。

5月14日(火)～19日(日)  
紀ノ国屋7店舗(インターナショナル店、渋谷店、等々力店、吉祥寺店、国立店、鎌倉店、ラスカ平塚店)

### おいでませ山口館のイベント

○萩の夏みかん・周防大島の柑橘フェア

5月中旬  
東京都中央区日本橋2-3-4日  
本橋プラザビル1階 おいでませ山口館(03-3231-1863)

### 野坂和左作陶展

5月22日(水)～28日(火)

東京都中央区日本橋室町1-4-1

日本橋三越本店 6階美術サロン  
(03-3241-3111)

### 萩焼 守繁徹 還暦舞展

5月30日(木)～6月5日(水)  
東京都豊島区西池袋1-1-25  
東武百貨店池袋店 6階美術画廊  
(03-3981-2211)

### 小田喜郎展(絵画・油絵)

萩出身の洋画家(萩高22期、昭和45年卒)の個展。

6月3日(月)～8日(土)  
東京都中央区銀座7-10-8  
シロタ画廊  
(03-3572-7971)

### 全国日本酒フェア

萩の地酒も出展される予定です。

6月14日(金)  
東京都豊島区池袋3-1-1  
池袋サンシャインシティ  
(間) 山口県酒造組合  
(083-973-1710)

### 岡田裕作陶展

6月25日(火)～7月1日(月)  
千葉県柏市柏1-1-21  
そごう柏店  
(04-7163-2111)

「エンゲージプロジェクト・キャンペーン」  
金子司の作品が展示されます。

6月26日(水)～7月7日(日)  
東京都中央区日本橋室町1-4-1

日本橋三越本店 6階工藝サロン  
(03-3241-3311)  
■下瀬信雄 写真展「つぎをゆびさす」  
7月17日(水)～30日(火)  
午前10時30分～午後6時30分  
東京都中央区銀座7-10-1 S  
TRATA GINZA1-2階  
銀座ニコンサロン  
(03-5537-1469)

※8月8日(木)～21日(水)、大阪ニコンサロンでも開催されます。



銀座Nikon Salon7月17日(水)～30日(火)  
大阪Nikon Salon8月8日(木)～21日(水)

## 東海地区

### 東海指月会

東海地区の萩高同窓会。  
6月23日(日) 正午～午後2時  
愛知県名古屋市中村区名駅4-3-25

キャッスルプラザ3階 亀の間  
(0566-99-4069) 古岡

## 関西地区

### つばき会関西支部

関西地区の萩商工同窓会。  
6月29日(土) 正午～午後3時

## 根津美術館(東京都南青山) 特別展

「やきものが好き、浮世絵も好き」  
山口県立萩美術館・浦上記念館名品展」

高麗青磁などの東洋陶磁130  
点と浮世絵初期から黄金期の62  
計192点を特に厳選。浦上記念  
館のコレクションを東京で今回ほ  
どの規模で展覧するのは初めて。  
首都圏在住の方は、この機会にぜ  
ひご覧ください。

6月1日(土)～7月15日(月・祝)  
午前10時～午後5時  
休館日 月曜日  
入場料 1200円、高校生以上  
1000円

◆関連イベント  
講演会1「浦上さんが蒐集(あつめた)珠玉の浮世絵」  
6月22日(土) 午後2時～3時30分  
▽講師 佐藤光信(平木浮世絵美術館館長)  
講演会2「息子が語る父のコレク

大阪市北区芝田2-4-53  
大阪弥生会館  
(06-6389-1547) 鳥田

◆関西山峡(やまなみ)会  
旧旭村・川上村の同郷会。  
6月23日(日) 午前11時～  
大阪市都島区網島町9-10  
大園園  
(0742-41-2023) 青水

◆岡田泰作陶展  
6月19日(水)～25日(火)  
大阪府大阪市北区梅田3-1-3



なになわ きたがわ  
「難波屋おきた」喜多川歌麿  
歌麿美人画の代表作

JR大阪三越伊勢丹  
(06-6457-1111)

## 中国地区

### つばき会広島支部

広島地区の萩商工同窓会。  
6月22日(土) 午後6時30分～  
広島市南区金屋町1-17  
ワークピア広島(旧広島労働会館)  
(082-545-3630) 藤本

### 広島指月会

広島地区の萩高同窓会。

(08222252111)

### 山口県関係

#### つばき会山口支部

山口地区の萩商工同窓会。  
6月29日(土) 午後6時30分  
山口市湯田温泉4・5  
ホテルかめ福  
(08339323599) 中嶋

■東行記念館 奇兵隊結成150  
年記念企画展「高杉晋作と奇兵隊」  
幕末維新という激動の時代にお  
いて大きな役割を果たした高杉晋  
作と奇兵隊について、晋作の遺品  
も展示。  
開催中〜6月30日(日)  
観覧料 大人300円、大学生

### 萩市関係

#### 萩商工同窓会つばき会本部総会

7月13日(土) 午後6時  
会費3000円(福引代含む)  
萩市平安古町544  
萩商工高校体育館  
(08382220034) 小田

#### 大屋窯のイベント

陶器・磁器・ジュエリーが20%  
〜70%OFF。  
5月1日(水)〜6日(月・祝)  
萩市椿905  
大屋窯(08382227141)

#### 山口県現代工芸美術展

吉賀将夫など山口県在住の現代  
工芸作家の陶芸など展示。  
6月25日(火)〜9月29日(日)  
萩市椿東426・1  
吉賀大厩記念館  
(0838265180)

### 映画情報

■「セテック・バレ」  
萩市出身の俳優、松本実さんが

日本人警官役で出演。日本が台湾  
を統治し、日本人化運動を推し進  
めていた時代に起きた抗日暴動を  
描く歴史ドラマ2部作、台湾映画  
4月20日〜ロードショー

### 出版情報

■日経ビジネス(4月22日号)

「道の駅」が地方を救う特集で、  
道の駅「萩しーまーと」が商品  
ブランド化して、知名度と価値を

高めた成功事例として紹介。

### プレゼント

①萩陶芸家協会設立20周年記念「萩  
の陶芸家たち展」の図録を3名様。  
②雲林寺(10ページ) 提供、ネコ  
鈴守り22個  
③応募方法 ハガキに品名、住所、  
氏名、電話番号、近況等を明記の  
うえ、萩ネットワーク協会プレゼ  
ント係まで。4月30日(消印有効)。

### 萩博物館だより

#### 企画展「幕末明治の洋行者たち」

〜藩都萩に眠る古写真からⅡ〜  
6月23日(日)まで  
150年前の文久3年(186  
3)、5人の萩藩士「長州ファイ



#### 結成150周年記念テーマ展 「奇兵隊の群像(第1期)」

〜6月30日(日)  
150年前、高杉晋作が結成し  
た奇兵隊に参加した人々のドラマ  
を3期に分けて紹介。  
■年中無休

#### 山口県立萩美術館・浦上記念館だより(☎0838242400)

#### 「萩の陶芸家たち展」

5月19日(日)まで  
大賞(船崎透、9ページで紹介)、  
準大賞(岡田泰)などの入賞作品  
をはじめ、萩陶芸家協会加盟作家  
86人による107点の作品を一堂  
に展示。

5月23日(木)〜6月2日(日)  
日本工芸会山口支部の会員40人、  
102点の中から、最優秀賞の山  
口支部長賞は萩市の野坂和左さん  
の「萩黒彩皿」が受賞。

■休館日 月曜日(5月6日は開  
館)、展示替えのため6月10日〜  
28日は休館

### 新規(再)加入会員

- 松村美代子さん (萩市)
- 松浦好徒さん (福岡県糸島市)
- 山根隆さん (山口市)
- 上村豊さん (福岡県行橋市)
- 村上一之さん (千葉県習志野市)
- 藤村久男さん (大分県中津市)
- 神崎瑛子さん (埼玉県川口市)
- 平田清子さん (萩市)
- 中島孝枝さん (大阪府大阪市)
- 渡辺守さん (東京都日野市)
- 羽倉義征さん (兵庫県神戸市)
- 吉屋寿美さん (山口市)
- 岡紀子さん (萩市)
- 田中俊之さん (アメリカ)
- 松原栄子さん (神奈川県横浜市)
- 平井清子さん (兵庫県神戸市)

#### 久保隆さん (萩市)

- 日名内太郎さん (東京都渋谷区)
- 横関あつ子さん (埼玉県所沢市)
- 一色美地子さん (岐阜県岐阜市)
- 山本哲也さん (東京都渋谷区)
- 勝本克正さん (福岡県北九州市)
- 音吉直樹さん (東京都練馬区)
- 藤田博文さん (福岡県福岡市)
- 鶴崎匡男さん (周南市)
- 榎木貴之さん (大阪府大阪市)
- 谷清司さん (大阪府大阪市)
- 鈴木なをみさん (大阪府東大阪市)
- 多田文江さん (大阪府大阪市)
- 村木歳正さん (京都府城陽市)
- 國司光男さん (兵庫県神戸市)
- 上野将太郎さん (鳥取県鳥取市)

(2月25日)〜4月24日 32人

# イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 5月1日(水)～5日(日) 9:00～17:30  
 ◇萩焼まつり 萩市民体育館
- 5月3日(金)～4日(土) 10:00～15:00  
 ◇萩・大茶会 萩城跡指月公園
- 5月3日(金)～4日(土) 10:00～17:00  
 ※4日は16:00まで  
 ◇萩往還まつり「技・明木展」  
 明木市・乳母の茶屋周辺
- 5月11日(土)～19日(日)  
 ◇萩オープンガーデン 市内各庭園
- 5月18日(土)～5月19日(日) 10:00～16:00  
 ◇萩・夏みかんまつり  
 かんきつ公園、旧田中別邸
- 5月19日(日) 9:00～16:00  
 ◇浜崎伝建おたから博物館 浜崎地区
- 6月2日(日) 9:30～13:30  
 ◇萩の和船大競漕 おしくらごう  
 橋本川下流
- 6月8日(土) 17:30～22:00  
 ◇ホテルまつり in やまだ 山田天神橋周辺
- 7月7日(日) 9:30～13:00  
 ◇萩の瀬つきあじ祭り  
 山口県漁協萩地方卸売市場、道の駅「萩しーまーと」

5 / 18～19

萩・夏みかんまつり



初夏の風景フォトコンテスト2012入選「萩夏みかん小町」中野紀男(長門市)

夏みかんは、5月上旬頃から白い小さな花が咲き誇り、かんきつ公園や城下町をはじめ町じゅうが甘い香りに包まれます。まつり会場のかんきつ公園は平安古町の旧田中別邸そば

6/8 ホテルまつり in やまだ



夕闇の中、一つひとつ明滅するホテルの光が作り出す神秘的な光景。  
 【他の地域】▷大光寺ほたる祭り(吉部下大光寺地区)、▷鈴野川ほたる祭り(弥富鈴野川地区)ともに6月8日(予定)

5/11～19 萩オープンガーデン



文化財施設や個人宅等、市内25カ所の庭園が開放されます。史跡だけでなく、一般住宅、ホテルなどの美しい庭園も多いまちを散策してみませんか。共通パスポートは200円。

6/2 萩の和船大競漕 おしくらごう



玉江浦地区に藩政時代から受け継がれる伝統の和船競漕。ねじりはちまき、下帯姿の若者たちが掛け声に合わせて櫂を漕ぎ、波しぶきをあげて白熱したレースを繰り広げます。

ブックレットシリーズ

萩ものがたり

申し込み 一般社団法人 萩ものがたり (0838・25・3233)

好評既刊 長州ファイブ渡航 150年記念

6 密航留学生「長州ファイブ」を追って

28 長州ファイブ物語 一工業化に挑んだサムライたち

各600円



奇兵隊結成150年記念出版

37 奇兵隊士列伝(一)

38 奇兵隊士列伝(二)

一坂太郎(萩博物館特別学芸員) 各600円

幕末長州に誕生し、維新の礎となった奇兵隊は強烈な個性を放つ男たちの集まりでした。組織の中で繰り広げられた、さまざまな人間模様を辿ります。

奇兵隊士列伝(一) 高杉晋作(有志隊を結成した初代総督)、白石正一郎(伝説化した馬関商人)、宮城彦助(文から武へ、そして狂へ)、河上弥市(但馬に散った若武者)の4人を紹介。

奇兵隊士列伝(二) 赤祢武人(全員無事にと願う)、阿川四郎(小倉戦争に散った小隊司令)、時山直八(朝日山に突撃した「猛将」)、福田侠平(悠々として若者を見守る)の4人を紹介。